

# 文芸小ふたば

## 俳句

【大和俳句会】

さえざりや母の背を越す巢立の子

安達 幸子

友逝きし心にジーンと寒き朝

代田 とし

初午や大釜で炊くしもつかれ 岩淵 のぶ子

冬枯れに黄金色が映えてます 鈴木 登美子

## 短歌

【花の室 木崎集】

降りそそぐひかりの粒子 八重梅の花咲き始

めぬ不在の庭に 塚田 沙鈴

根性は睡魔にとろけ気がつけば朝の硯にかさ

ぶたの墨 石浜 今日子

日だまりが悲しい季節になりまして土手の斜

面に寝そべる小猫 大久保 まさ子

雪は止み三重の塔の照り映えぬ七百年の年経

し今も 高昌

現し世のことと思ひぬ路地行灯 手燭のかけ

は躑躅にゆれ 塩谷 明子

寒風にさらはれしごと友逝けり山の樁も俯向

いて咲く 鈴木 とみ

茶の席の今失き友の手土産は四角で厚い館  
最中 塚本 幸子

陽にあてし布団に入れば幸せはこんな近くに  
あつたと気づく 西岡 和子

凧一つ揚げあひし子らをたうとつに懐しみを  
りぬ柚子湯のなかに 野村 幸男

霜の朝小すずめ三羽啄むや落ち葉カサコソ  
行ったり来たり 山田 洋子

キョッキキョッキキョッキ足音軋ませ豆剣土ぞうき  
んがける冷気の道場 奥田 豊子

毎食のおじやをパンに切替えて今朝も一人の  
食事 もくもく 間々田 久子

サクラ咲き人をいとわず包みこむやさしき母  
を思い出させる 田村 敦子

流されてながれて添いて河口まで光は波に吸  
い込まれ入る 田村 ひろみ

【岩瀬秋歌会】

夫めくる朝刊の風ほほ撫でる逆さ文字みつ  
心ざわめく 大関 節子

庭の木に思ひおもひの雪化粧去夜に降りしや  
春のさき雪 安達 悦子

遠き嶺に柵引く雲と湧く雲と光り合いつつ  
加波山の初春 安達 すみ子

春雨にまじりて降りし淡雪は地に着かぬ間に  
いつこにか消ゆ 角田 玉枝

わくら葉を残して万作花盛り根方に笑まふク  
リスマスローズ 坪井 ゆき子

春風のやはらに吹きて梅が香の灰にかをる一  
人居の部屋 長谷川 玲子

今日の日を良しと思へる様な日にならずに今  
日も一日は暮れる 石川 喜代

【二般投稿】

百歳の大往生を仰ぎ見る春の息吹はお、天晴  
れと 鈴木 省一

## 俚謡

【さくら俚謡会】

環境保護と郷土の誇り筑波の峰に綿帽子

みなのか川 遊

子等の遠足歌声軽く富谷観音花吹雪

岩瀬 絵都女

高嶺の花より足元見れば色も幸せ福寿草

一木 みどり

路地の番傘細めの肩へ雨は四月の音で降る

いなばない

桜吹雪に浮かれちゃおれぬ明日は水稲忙し  
播種 田 哲人

介護のご相談は

居宅介護支援事業所

さくらがわ

☎0296-20-6071

入所・短期入所・  
通所リハビリテーション

介護老人保健施設

さくらがわ

☎0296-20-6071

URL: <http://www.douaikai.or.jp>

内科・外科・消化器内科・  
循環器科・呼吸器科・耳鼻咽喉科

延島クリニック

☎0296-58-5058